

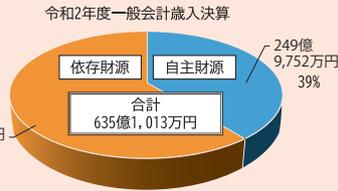
## もっと歳入の確保にも力を注ぐべき!

斐翔・自民クラブ  
水門 義昭



**問** 「歳入だけに特化した基本方針が必要では」今後人口減少や少子高齢化に加え新型コロナウイルス感染症もあり厳しい財政が予測される。歳出の抑制や削減は当然だが、歳入に特化した「歳入確保に係る方針」を策定する必要性を感じるが。

**答** 大切な財源を確保するには幅広い観点から財源について考えをまとめる必要がある。今回の提案を受け他市等を参照し、大局的やグローバル的に歳入に特化した「歳入確保に係る方針」の必要性を認識した。ある程度の時間をかけなければならぬが検討していく。



## 誰も取り残さない！ 支え・支えられる社会を

無党派  
山腰 恵一



**問** 社会的孤立は、コロナ禍で複雑化・複合化した課題を抱えた世帯が孤立するだけでなく、社会の制度に繋がらず、さらに孤立を深めてしまう。誰も孤立させない包括的な支援体制である重層的支援体制整備について、どのような体制で推進していくのか。

**答** 障がい者基幹相談支援センターの開設や生活困窮者自立相談窓口の充実など、相談者の属性を問わない包括支援体制の強化を図っている。さらに参加支援や地域づくり支援に取り組むなど横断的に関連させながら積極的に相談者に寄り添った具体的な支援を行うよう取り組む。



## コロナ感染拡大防止策 にPCR検査を

無党派  
上嶋 希代子



**問** コロナ感染拡大の防止策は、第一に検査をして感染者を見つけ隔離、手当をすること。これが専門家の提言である。市が、PCR検査を独自に進めない理由は何か。

**答** 発熱など症状がある方に、医師が検査が必要と認めた場合、地域外来センターやかかりつけ医による検査体制が整備されている。また、県や保健所の判断で症状の有無にかかわらず集団感染(クラスター)化の恐れがある接触者への検査が積極的に行われており、必要なPCR検査の実施は対応可能と考えている。市の独自のPCR検査体制の強化は考えていない。



## 荘川町六厩の産業廃棄物 最終処分場建設計画について

高山市政クラブ  
中谷 省悟



**問** 自然豊かで美しく潤いのある荘川町に、平成30年9月産業廃棄物最終処分場計画が富山県の事業者から岐阜県に提出された。この計画の進捗状況を市はどこまで把握しているか。荘川町では当初から安全が危惧され反対を表明しており、署名活動を始めた。この動きに対して市長の思いを聞きたい。

**答** 現在、業者は事業計画の見直し補正作業を行っているとして市では情報を得ている。行政に民意を反映する方法として署名活動は効果的手段であるので、市民の声が県にしっかり届くよう市長の役割を果たしていく。

